

熱技術 NEWS

ニュース

July
2019

Vol. 77



エコムが見た 2019 年海外市場。展示会レポート

2019年6月末に、ドイツのデュッセルドルフにて「THERMPROCESS2019」が開催され、エコムも出展させていただきました。欧州の多くのお客様に加えて日本の業界関係者の皆様にもご来場いただき、誠に感謝致します。

今回は実際に現地会場に立った弊社スタッフが自身で感じた欧州市場の現在の様子を、レポート形式にてご紹介致します。

デュッセルドルフはドイツの西の端、ライン・ルール工業地帯の南西部に位置する商業都市です。国際的な25のメッセ(見本市)が行われ、ライン川が近くに流れるメッセの周辺はとても穏やかな印象を受けました。滞在中は異常気象の影響で日本よりも気温が高く午後11時まで外が明るいことが印象的でした。



ドイツ トップレベルの国際見本市

メッセ・デュッセルドルフ会場の展示可能面積は、東京ビッグ・サイトと幕張メッセの合計面積よりも大きい約30万㎡で、ホールは17つあります。2019年6月25日～29日に開催されたTHERMPROCESS(国際工業炉・熱応用技術展)は、この分野では世界的に最も重要な見本市とされています(UFI承認見本市)。同時にGIFA(鑄造機械関連)/METEC(冶金技術関連)/NEWCAST(鑄造関連)が開催されました。展示物は最新のバーナ及び燃焼機器、材料、大型の建設・鉱山・工作用などの機械、鑄物製品などがありました。

全体で2,360社の出展があり、日本からの出展は50社でした。来場者は約72,500人で、そのうち日本人の方は960人でした。国外来場者比率は66%で、国際性が高く、様々な国の方とお会いすることができました。

ドイツ 最新型 ECONEXT 出品！

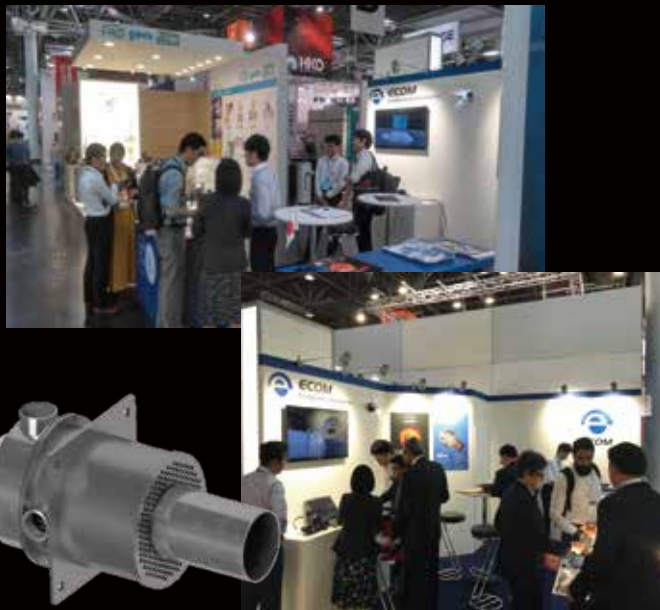
今回エコムはTHERMPROCESSに自社開発バーナブランド「ECONEXT」の最新型となるENX-Pを出品しました。

ENX-Pはバーナに搭載された熱交換器による高い省エネ性能に加え、高温空気燃焼技術に基づく大幅なNOx排出削減が可能となっています。弊社ブースには欧州・アジアを始め各国からの来客があり、様々なニーズをヒアリングできました。

やはり環境規制の厳しい欧州では特にバーナからのNOx排出量が選定の重要なポイントになっており、弊社ブースでもNOx性能についての多くの意見交換がされました。

これら様々なニーズのヒアリングができたのも今回の出展の大きな収穫のひとつです。

環境保全及び経済的な設備供給のニーズを背景に、高効率・低NOx燃焼技術の高度化がますます期待されるなか、エコムは今後も市場ニーズに適合した製品開発を行っていきます。



出展を行ったHall09には約190ブースが設けられており、工業炉、バーナ、ヒータ、ファン、制御といったハード機器からエンジニアリング、システムと各社様々な提案がありました。バーナ展示は汎用用途含め15社程度あり、なかでも、バーナの命であるノズルの形状を複雑に工夫して性能を上げたものが出展されていました。3D印刷技術が加工コストに合うようになったためか、ノズル等はその技術を使うメーカーが多くありました。新技術の産業応用には、新技術→加工コスト→製品部品の多様化の流れがあります。今回は各ブース紹介を通してこれを感じることができました。



株式会社エコム
Ecology and Combustion Inc.

熱技術ニュース

発行：株式会社エコム

URL : <http://www.ecom-jp.co.jp/>

本社・テクニカルセンター

〒431-2103 静岡県浜松市北区新部田 4-5-6
TEL:053-484-1122 FAX:053-484-1124

第3エンジニアリング工場

〒434-0041 静岡県浜松市浜北区平口 5281-3